

最良のサポーターとして行動する知恵と勇気を(7/27)



自分は語彙表現が乏しいもので、「雑学BN」を参照ください

当HPでしばしば触れているメル友である明石洋子さんとご子息の「ありのままに あたりまえに 生きる地域に ～自立への子育て 自閉症の息子とともに～」の講演を、昨日、盛岡で拝聴してきました(写真上:壇上のお二人)。

車でしたので天候次第でしたので、内緒で出かけました。まさか来るとは思わなかったようで、驚かせたよう(厚かましく、ちゃっかり記念撮影をお願いしちゃった!(^)!右:写真)。

主催者側も驚いたようで、わざわざ出迎えていただき、演者紹介の中でも「みなさんの中には、仙台から聴きにいられた方もいるようで…」と、触れていました。

さて、自分は、いわゆる文学書とは縁がなく過ごしてきたもので、感動表現語彙が乏しくてどう表現していいか、つい、「凄い！」を使ってしまうが、それにしても、明石さんの講演を改めて拝聴し、「やはり、明石さんは、母親という名の凄い教育実践家だ！」と再認識しました。

どう「凄い！」かをここで改めて触れるにはやはり語彙の乏しさを痛感しますので、以前に明石さんに触れた記事のバックナンバーを列記しますので、私が言わんとするその「凄い！」という語彙の中味をご推察ください。

「雑学BN」HPの「時系列目次一覧」から、日付と記事のタイトルを手がかりに、アクセスください。

「2004.07.11. 『共感してくれる仲間』と『直感』で感じてもらうには」、
 「2004.07.21. ある母親とのHPでの出会い」、
 「2004.08.29. 母親というより、正に教育実践家！」、
 「2004.09.29. 親としての環境作りへの実践・行動力」、
 「2005.04.04. 書籍『お仕事がんばります』を紹介します」、
 「2005.04.16. 書籍『お仕事がんばります』を読んで」、
 「2005.08.14. 『生活スキル、選択肢の工夫』への観点の重要性」、
 「2005.08.25. 明るく、前向きな考え方で生きてきた家族に感動」、
 「2005.08.26. 何事にも前向きな思考力は、やはり凄い！」、
 「2005.10.22. 地域社会とは、場所ではなく、人との係わり」、
 「2005.12.11. 『明石洋子さんの本の完結をお祝いする会』へ出席して」、
 「2005.12.18. とっても素敵なお土産をゲットに感謝！」、
 「2006.06.16. 障害児とプライバシー問題」

講演を聞いた親御さんや関係者が、明石さんのように、真に我が子の最良のサポーターとして行動する知恵と勇気を、少しでも学んで欲しいと願わずにはいられません。

- [「雑学BN」](#)
- [「雑学・フォトアルバム」](#)

